



2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社エアークローゼット
コード番号 9557 URL <https://corp.air-closet.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 アセット戦略室長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-6452-8654

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,009	11.9	31		23		22	
2023年6月期第2四半期	1,796		74		108		156	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	2.80	2.78
2023年6月期第2四半期	19.55	

- (注) 1. 当社は、2022年6月期第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 2023年6月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,614		582		22.2	
2023年6月期	2,504		557		22.3	

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 581百万円 2023年6月期 557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		0.00	0.00
2024年6月期		0.00			
2024年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,926	5.0	97		117		119		14.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	8,199,400 株	2023年6月期	8,197,000 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	株	2023年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	8,198,278 株	2023年6月期2Q	8,023,544 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年2月14日(水)に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却、メンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

2023年10月には当該物流プラットフォームを活用した都度課金型の新しい取り組みである「Disney FASHION CLOSET」をスタートしており、まずは認知拡大に努めてまいります。

また、今後は循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く取り組みも推進してまいります。

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行等による人流の増加、経済活動の正常化が進む一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社サービスにおいては、6ヶ月を超えて継続してサービスを利用しているロイヤル会員数の堅調な推移、長期契約コースの拡充等による継続率の改善等により、安定した会員数の伸びを実現しております。

当社は、情報量が爆発的に増加し、個人の時間価値が相対的に高まっていく現代社会において、パーソナルスタイリングの要素を強みとしてファッションレンタルサービスのパイオニアとしてのポジションを維持し、市場を牽引する立場として成長を続けております。

また、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。加えて、2023年9月には、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,009,401千円（前年同四半期比11.9%増）、EBITDA（営業利益＋レンタル用資産償却費＋減価償却費）298,683千円（前年同四半期比221.6%増）、営業利益31,222千円（前年同四半期は74,835千円の営業損失）、経常利益23,259千円（前年同四半期は108,135千円の経常損失）、四半期純利益22,993千円（前年同四半期は156,865千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,866,931千円となり、前事業年度末に比べ38,693千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少51,814千円によるものであります。固定資産は747,670千円となり、前事業年度末に比べ149,074千円増加しました。これは主に、年間を通じての月額会員数の増加に応じて、必要在庫数が増加したことに伴いレンタル用資産が140,699千円増加したことによります。

この結果、総資産は2,614,602千円となり、前事業年度末に比べ110,380千円増加しました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,045,812千円となり、前事業年度末に比べ86,402千円増加しました。これは主に、資金調達により短期借入金が増加したことによります。固定負債は986,781千円となり、前事業年度末に比べ115千円減少しました。

この結果、負債合計は2,032,593千円となり、前事業年度末に比べ86,287千円増加しました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は582,008千円となり、前事業年度末に比べ24,093千円増加しました。これは、四半期純利益計上による利益剰余金の22,993千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は22.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より51,814千円減少し、1,199,982千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは379,576千円の収入（前年同四半期は135,515千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益23,259千円及び減価償却費267,461千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は489,970千円（前年同四半期は459,630千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出492,344千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は58,578千円（前年同四半期は583,236千円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増額64,866千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月14日に「2023年6月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,451,797	1,399,982
売掛金	337,507	344,747
商品	6,774	9,597
貯蔵品	10,076	12,862
前払費用	40,166	38,961
その他	62,867	64,513
貸倒引当金	△3,565	△3,733
流動資産合計	1,905,625	1,866,931
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	403,348	544,048
機械装置（純額）	62,502	72,747
工具、器具及び備品（純額）	6,766	7,119
その他（純額）	4,706	4,525
有形固定資産合計	477,324	628,441
無形固定資産		
ソフトウェア	1,341	1,054
無形固定資産合計	1,341	1,054
投資その他の資産		
敷金	88,285	88,175
その他	31,644	30,000
投資その他の資産合計	119,929	118,175
固定資産合計	598,596	747,670
資産合計	2,504,221	2,614,602

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	112,689	146,695
短期借入金	224,955	289,822
1年内返済予定の長期借入金	214,683	208,018
未払金	140,030	116,992
未払費用	9,370	17,483
未払法人税等	—	265
前受金	184,228	187,220
預り金	29,127	38,593
契約負債	20,872	21,678
その他	23,451	19,043
流動負債合計	959,409	1,045,812
固定負債		
長期借入金	960,000	960,000
資産除去債務	20,704	20,704
その他	6,192	6,076
固定負債合計	986,897	986,781
負債合計	1,946,306	2,032,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,062	50,251
資本剰余金	862,044	862,232
利益剰余金	△354,191	△331,198
株主資本合計	557,915	581,285
新株予約権	—	723
純資産合計	557,915	582,008
負債純資産合計	2,504,221	2,614,602

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,796,412	2,009,401
売上原価	920,777	1,037,919
売上総利益	875,635	971,482
販売費及び一般管理費	950,470	940,259
営業利益又は営業損失(△)	△74,835	31,222
営業外収益		
受取利息	4	6
雑収入	370	1,499
営業外収益合計	375	1,505
営業外費用		
支払利息	9,659	9,468
上場関連費用	24,016	-
営業外費用合計	33,676	9,468
経常利益又は経常損失(△)	△108,135	23,259
特別損失		
減損損失	47,584	-
特別損失合計	47,584	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△155,720	23,259
法人税等	1,145	265
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△156,865	22,993

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△155,720	23,259
減価償却費	167,704	267,461
減損損失	47,584	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	76	167
契約負債の増減額(△は減少)	2,250	805
受取利息	△4	△6
支払利息	9,659	9,468
売上債権の増減額(△は増加)	△20,684	△7,239
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,229	△12,276
仕入債務の増減額(△は減少)	7,631	1,922
未払又は未収消費税等の増減額	7,624	△4,407
未払金の増減額(△は減少)	29,150	△23,037
前受金の増減額(△は減少)	5,040	2,992
その他	43,773	130,460
小計	146,316	389,569
利息の受取額	4	6
利息の支払額	△9,659	△9,468
法人税等の支払額	△1,145	△530
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,515	379,576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△459,580	△492,344
敷金及び保証金の差入による支出	△50	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	2,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459,630	△489,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	563,628	376
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,413	64,866
長期借入金の返済による支出	△10,805	△6,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	583,236	58,578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	259,121	△51,814
現金及び現金同等物の期首残高	1,139,598	1,251,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,398,719	1,199,982

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

資金の借入

当社は、2024年1月15日開催の取締役会において、資金の借入を行うことを決議し、以下のとおり実行いたしました。

1. 借入の目的

今後の事業展開を見据え、資金を確保することで財政基盤の一層の安定化を図ることを目的としております。

2. 借入の概要

(1) 借入先	株式会社日本政策金融公庫
(2) 借入金額	200,000千円
(3) 借入実行日	2024年2月9日
(4) 借入期間	5年1カ月
(5) 利率	固定金利 ※ただし、税引後当期純利益額により変動の可能性有
(6) 返済方法	期限一括償還
(7) 担保等の有無	無